



比治山生のその先をセンパイに聞く!

HIJIYAMA TALK

現代文化学部 社会臨床心理学科 卒業生の声

大学と大学院で心理学の学びを深め、
資格を活かして働く卒業生のもとへ
在学生が話を聞きに行きました。

卒業生



佐野 ひかりさん
学部'16年卒/院'18年修了

○広島市立沼田高等学校出身
医療法人辰川会 山陽病院に勤務。認知症をはじめとした患者の心理検査や心理療法などを行う。

在学生



清水 未来さん
4年/大学院1年 ※

○広島県瀬戸内高等学校出身
心理学に広く興味を持ち入学。公認心理師と臨床心理士の資格取得を目指し、大学院へ進学予定。

※取材当時の学年です

<清水> テレビ番組で心理師の方が話しているのを観て、心理学って面白いなと感じて入学しました。春からは公認心理師と臨床心理士の資格取得を目指して大学院へ進学します。

<佐野> 私は学部在学中に祖母が認知症になったり友人がうつになったことがあり、心理職の道へ進もうと決めました。現在は認知症や透析、アルコール依存症などの患者さんへの心理検査や心理療法、臨床についての研究をしています。

<清水> 学部と院での学びの違いはどんなところでしたか？



学部では主に知識を身につけて、
院では知識をさらに深めながら
実践の練習もしていきます。

<佐野> 学部では主に知識を身につけて、院では知識をさらに深めながら実践の練習もしていきます。院では直接クライアント

さんや患者さんと関わっていくので、それが大きな違いですね。

<清水> 実習自体は楽しみですが、心理職としてまだ一人前ではない院生の段階だと、自分の知識不足で患者さんに影響を与えてしまわないかなと不安もあります。

<佐野> それは分かります、私もそうでした。でも先生や実習先の方も考えてくださっているので大丈夫！ 不安な時は相談しながらやっていくといいですよ。自分の存在がクライアントさんにとってプラスになったんじゃないかと先生から言われた時はうれしかったし、この道を究めたいって改めて思いました。

<清水> 公認心理師と臨床心理士の資格はいつとられましたか？

<佐野> 実際にとるのは、基本的にはどちらも修了後になると思います。私は働き出してから本格的な勉強を始めて苦労



したので(笑)、在学中から勉強しておくことをおすすめします！院では実習に勉強に就職活動となかなか忙しいですが、息抜きや休憩をとりながら頑張ってくださいね。



佐野さんはインターンシップは 行きましたか？

<佐野> 心理職のインターンシップは少ないので自分で探すことになると思います。私はたまたま先生から話しをもらって、今勤めている山陽病院へインターンシップに行けたんですよ。

<清水> そこではどんなことをしましたか？

<佐野> 最初は見学から始めて、少しずつ患者様と話す機会が増えて、やり方を教えてもらいながら検査もとらせてもらいました。けっこう実践的な内容でしたね。

<清水> 就活では病院以外を考えたりはしましたか？

<佐野> 認知症やうつの方の支援がしたかったので自然と病院に絞ることになり、他は考えていませんでした。今の職場に決めたのも、認知症に力を入れていて、うつや他の疾患も広くみていたし、自分のやりたいこととマッチしていたからなんです。

<清水> 私はスクールカウンセラーになりたくて学校を希望していますが、病院もいいのかなと思うことがあって迷っています。院で学べば視野も広がるのかなあとは思っているんですけど…。

<佐野> いろんなことに興味を持つのは良いことだと思うので、今は迷ってもいいと思いますよ。あと私は、心理師の方が明るくてその雰囲気から惹かれたのも理由の一つ。インターンシップが難しければ病院見学をしてみるのもいいかもしれませんね。

<清水> この仕事で良かったと感じるのはどんな時ですか？

<佐野> 患者様の検査をしたり、ご家族に話を聞いてその内



心理検査や心理療法のほか、職員や地域の方へ向けた心の健康に関する講演活動、臨床現場での活動についての学会発表や論文執筆なども行っています。



コロナ対策など細かな部分まで配慮しながら、患者様のもとへ行って声掛けをしたり話したり、体調の確認などを行っています。



さまざまな職種の人とコミュニケーションをとり、患者様の状態を共有することも心理職の大切な仕事。院内には同じ比治山の卒業生もいます。

容を他の職種の人と共有して、患者様がより良く生活するために効果的な治療や支援方法をみんなで考えていきます。その方法が患者様に合っていて、少しずつ心身ともに回復していく姿を見るとうれしいし、この仕事で良かったと感じますね。清水さんが希望する仕事に就けるよう、応援しています！



大学で学んだ心理学に関する基本的な知識と、大学院の実習で身につけた傾聴スキルは、心理職として勤務する今の私の基礎になっています。